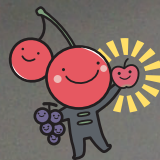


議会だより



にき

今年の予算

前年度対比約7億5千万円増の編成

CONTENTS

特集	ふるさと納税 ～全国からの応援～	12
第1回	今年のしごとピックアップ	6
Town NIKKI assembly		
定例会	町政のそこが聞きたい 一般質問 4人の議員が登場	14
	新規就農者の貴重な意見	22

議会HPは
コチラから
Check!



定例会のあらまし

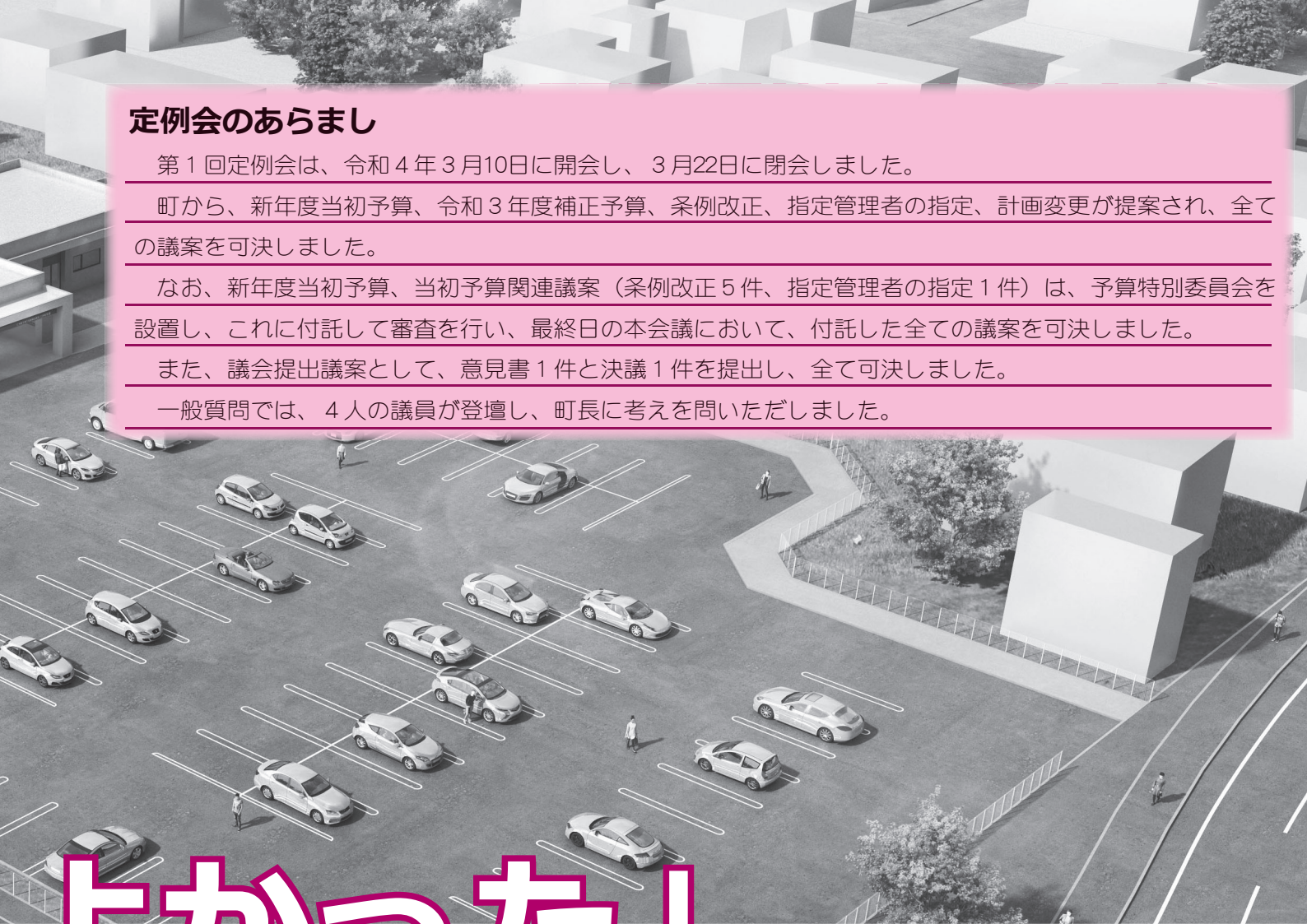
第1回定例会は、令和4年3月10日に開会し、3月22日に閉会しました。

町から、新年度当初予算、令和3年度補正予算、条例改正、指定管理者の指定、計画変更が提案され、全ての議案を可決しました。

なお、新年度当初予算、当初予算関連議案（条例改正5件、指定管理者の指定1件）は、予算特別委員会を設置し、これに付託して審査を行い、最終日の本会議において、付託した全ての議案を可決しました。

また、議会提出議案として、意見書1件と決議1件を提出し、全て可決しました。

一般質問では、4人の議員が登壇し、町長に考えを問いました。



よかった」 「住み続けたい」





「住んでみたい」
「住んで」

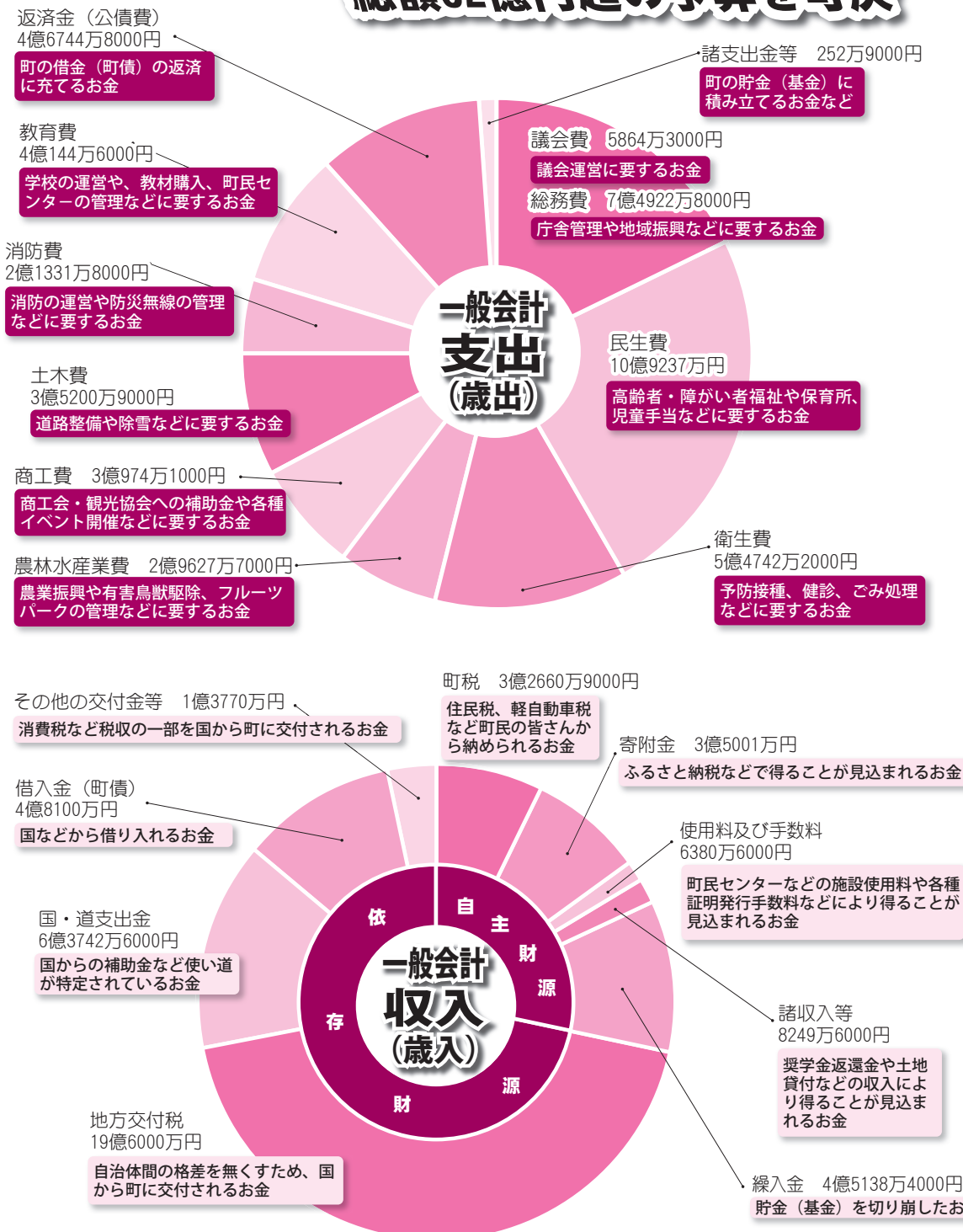


5000万円増の編成

令和4年
第1回定例会

3月10日~22日

総額52億円超の予算を可決



令和4年第1回定例会において、令和4年度一般会計予算と国保・簡水・後期高齢者医療の各特別会計予算が提案されました。

これに伴い設置された「令和4年度各会計予算特別委員会」における集中審議ののち、本会議において、討論・採決を行った結果、すべての会計を賛成多数で可決しました。

一般会計（歳入・歳出）

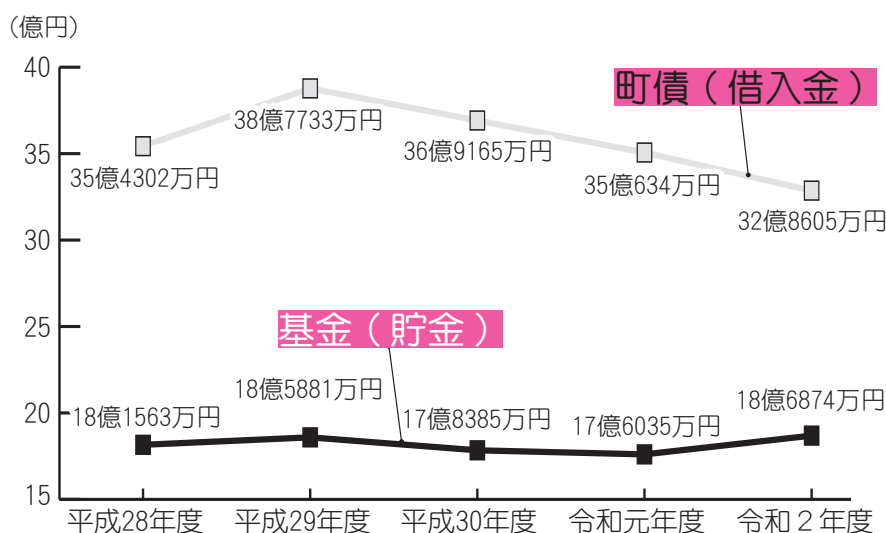
44億9043万1000円 【前年度対比17.9%増】

新年度 予算

前年度対比約7億

一般会計の基金(貯金)と町債(借入金)残高推移

基金は、近年は増加傾向で、令和2年度は3年ぶりに18億円を超えました。
町債は平成29年度以降減少していますが、今年度から工事が始まる(仮称)仁木町子育て支援拠点施設の建設により大幅な増加が見込まれます。



特別会計

国民健康保険事業 1億9518万9000円【前年度対比 5.9%増】
簡易水道事業 5億1823万3000円【前年度対比11.9%増】
後期高齢者医療 7907万2000円【前年度対比 5.1%増】

町政執行方針



さとう せいいちろう
佐藤 聖一郎 町長

本年度においても、『広範な町民の皆さまの意見』を傾聴し、地域づくりの主体である町民の皆さまとの確かな信頼関係を積み重ね、仁木町が『住んでみたい』、『住んでよかった』、『住み続けたい』と感じられる本町の将来像を共有し、その実現に向けて、互いに連携を深め、力を合わせて定住人口の増加等に取り組んでまいりたいと考えております。」と述べました。

定住人口の増加を

佐藤町長は、令和4年度町政執行方針において、「本年度より、念願でありました新たな子育て支援拠点となる施設の建設が始まります。完成までに1年以上の期間を要しますが、本年度においては、町内の小学生を始め、町民の皆さまにも参加していただき、名称の決定など、開設に向けての準備に取り組んでまいります。」

しごと アップ

継続 予約制バス運行事業

1615万円



より利用しやすくなります

今年度から試験的に予約なし運行を開始するとともに、ルートを見直し、新たにイオン余市店へ乗り入れます。

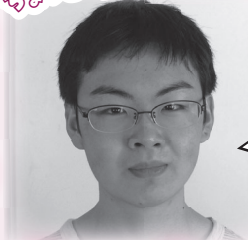
児童館は土・日・祝日も利用できるようにしてほしいです。
また、習い事や町内イベントなどにも施設を活用できるように運営してほしいです。

ちやっぴ 言わせて！



ひしぬま
(北町・菱沼さん)

ちやっぴ 言わせて！



おの
(銀山・小野さん)

より使いやすくなることは良いことだと思います。

今後も、中学生などの若い世代との意見交換も継続して実施し、たくさんの町民の声を聞いてほしいです。

※ 小野さんは議会と中学生との意見交換会の際に、ニキバスの予約制の廃止を提言していました。

2億4102万円



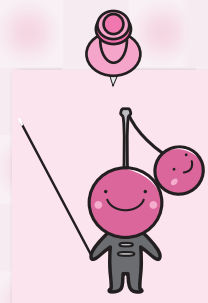
保育園、放課後児童クラブ、子育て支援、小型児童館の複合施設となります

今年度から、子育て支援拠点施設の建設工事が始まります。
当初の計画が変更となり、令和6年3月の供用開始を目指しています。

継続

(仮称)

子育て支援拠点
施設建設事業



ちやっぴ 言わせて！



いわもと
(大江・岩本さん)

学童では、「年上の子が下の子の面倒を見て、年下の子は上の子を見習って」というような学年を越えた交流ができることが良いと思います。
スクールバスとも連携してくれると嬉しいです。

遊べる場所がなく、役場のホールに集まっている子ども達に、遊べる場所を確保してあげてほしいです。
Wi-Fi 環境もあると良いですね。

ちやっぴ 言わせて！



いたや
(南町・板谷さん)

新規 (仮称) 銀山地区義務教育学校整備事業

227万円



新たな取組として期待が膨らみます

銀山地区では
小学校6年間と
中学校3年間で
合わせ、9年間
の義務教育学校
とするための準
備がスタートし
ます。

今年の
ピックアップ

ちゅっぴ 言わせて！



なす
(銀山・那須さん)

初めてのことで、説明会の開催など、きめ細やかに説明してほしいです。
また、小さい規模ならではの特色ある取組にも期待しています。

ちゅっぴ 言わせて！



ふるや
(東町・古屋さん)

新規就農者の方は、YouTubeなどの動画で栽培方法等を調べたりしていると思うので、良い取組だと思います。
ゆくゆくはミニトマトやサクランボの動画も作ってほしいです。

20万円



有効な活用が期待されます

シャインマスカットに関わる新規就農者等に向けた作業動画作成費用を農協と共同で半分ずつ補助します。

新規

新規就農者向け

動画作成事業



新規 多目的滞在施設 指定管理者が決定



町からの指定管理料の支払いはなく、指定管理者による運営となります

コロナ対策で設置された多目的滞在施設は、宿泊施設として、指定管理者の下で町内観光等のために活用されます。

ちゅっぴ 言わせて！



さとう うへだ
(自然農園・佐合さん、上田さん)

泊まることができる場所が増えるのは良いことだと思います。

また、単に宿泊するのみではなく、「また来たい！」と思えるような、人を呼び込むためのイベントの開催などにも期待しています。

予算の使い道

新年度一般会計・特別会計の当初予算案や当初予算関連議案などは、議長を除く議員8名で構成する「各会計予算特別委員会」を設置し、延べ3日間にわたり審査を行いました。

議案説明後、活発な質疑が行われ、全ての質疑が終わった後、議案ごとに討論・採決を行った結果、全ての議案を賛成多数で「可決すべきもの」と決定しました。

指定管理者選考時の評価は

木村 指定管理者の選考は委員15人が持ち点100点で実施し、平均点が約64点とのことだが、この点数は良い方なのか。

産業課参事

町内の指定管理施設は同じように採点しており、60点台のところもあれば、それ以上というところもある。選考基準としては平均点数

が60点以上の事業者を候補者としている。

老朽化した職員住宅の活用は

上村 解体費予算が約622万円だが、農業実習生の受入れなどで、建物を貸してほしいという要望は無いのか。

総務課主幹 解体予定の職員住宅4室については、農協等にも活用の打診を

総務課主幹

解体予定の職員住宅4室については、農協等にも活用の打診を

委員会での質問数

178回



老朽化により取り壊す予定です

している。しかし、床が沈むなど建物自体の老朽化が進んでおり、修繕が必要であることから、活用を断られているという経緯がある。

30万円となった。令和3年度までの取組は結果が伴わなかったのか。

副町長 令和3年度までは、2か年事業で実施しており、特に令和3年度は醸造用ブドウの圃場に観測機器を設置し、気象データ等の自動観測結果から最適な防除時期をスマホやパソコンで見られるような事業に取組み、一定の成果が得られた。

スマート農業実証プロジェクト事業の結果は

嶋田 事業の令和3年度予算は250万円だったが、4年度は

令和4年度はその成果をセミナー等でお披露目する予定である。

さとう ひでのり
佐藤秀教 委員

まろ 磨
なおりき 直之 委員

のざき あきひろ
野崎明廣 委員

うえむら ちえこ
上村智恵子 委員

皆さんの の税金

新年度

災害用備蓄食糧の 保管場所は



**野崎 備蓄食糧を購入
予定としている
が、保管場所はどこか。**

情報防災係長

保存食は

常温保存可能であるため、
庁舎近くの防災備蓄倉庫、
及び、大江コミュニティ
センター、銀山生活改善
センターの施設にしている
部屋で管理している。

観光協会の今後の 計画は



**唐 観光協会が一般
社団法人化され、
収益事業ができるように
なったが、町からの約1
800万円の補助金はい
つまで続けるのか。今後
数年間の計画を立てるべ
きではないか。**

産業課参事

**補助金とい
う形で出しているが、**

う形で出しているが、



最長で25年間保存可能です

本来は、町で行うべき観
光事業全般を観光協会が
ほとんど行っているとい
う状況で、町の観光事業
の委託費のようなニュー
アンスに近いものもあるた
め、これを削るのは難し
い部分もあると考えるが、
計画等を早急に立てるよ
うに指導はしていきたい。

給食センター内の コミュニケーション は



**佐藤 給食センターは
性質上、常に正
常に保たなければならな
いが、運営上、所長とセ
ンター職員とのミートイ
ングは実施しているのか。**

学校給食共同調理場所長

栄養士と調理員は、ほぼ
一緒に仕事をしている状
況で、これに係長を加え
た3者ミーティングは必
要に応じてだが、概ね週

に1回程度は実施してい
る。調理の状況や、勤務
体制等について協議して
おり、そこで解決できな
い問題は、私や教育長を
交えて対応している。

森林環境譲与税の 内容は



**宮本 森林環境譲与税
を基金に積み立
てることになっているが、
使い道は。**

産業課主幹

令和元年度
より交付税として入って
きており、令和3年度は
490万円が基金として
算入されている。

森林環境保全や環
境整備に使用するも
ので、令和4年度は
森林作業道の整備補
助金や造林事業補助
金等に合計174万
円を充当する。

かどわき よしはる
門脇吉春 委員長

みやもと みきお
宮本幹夫 委員

しまだ しげる
嶋田 茂 委員

きむら あさお
木村章生 副委員長

企業版ふるさと納税

令和3年度各会計補正予算結果

補正額

- ・一般会計（11回目の補正）
1億7669万4000円増
- ・国民健康保険事業特別会計（6回目の補正）
1238万8000円増
- ・簡易水道事業特別会計（4回目の補正）
1161万7000円減
- ・後期高齢者医療特別会計（4回目の補正）
129万3000円増

予算総額

- 45億2441万3000円
- 1億9674万9000円
- 4億5104万5000円
- 7653万2000円

補正予算

◇一般会計（第8号）

一般会計補正予算（第8号）は、企業版ふるさと納税寄附や保育士等処遇改善臨時特例事業等による増額や、各種事業の終了による減額補正が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

◇国保特別会計（第3号）

全員賛成で可決

◇後期医療特別会計（第3号）

全員賛成で可決

◇簡水特別会計（第3号）

全員賛成で可決

質疑あれこれ

Q 企業版ふるさと納税

での寄附は本町では初めてだが、ふるさと事業のプロジェクトに対する寄附なのか。どういう形で本町を選んだのか。

A 企業版ふるさと納税

については、本町は令和2年7月から寄附を受けられる体制となっている。条件の緩和により、事業プロジェクトではなく、まち・ひと・しごと創生の計画に準拠した形の包括的な計画での認定を受けている。

企業としては、近年は

地方創生ということで、地域の活性化を進めており、自治体と共同での事業推進として、効果を見出しているものではないかと考えている。

その他の議案

▼仁木町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

全員賛成で可決

▼特別職の職員で常勤のもの

の給与等に関する条例の一部改正

全員賛成で可決

▼仁木町職員の給与等に関する

条例の一部改正

全員賛成で可決

▼仁木町国民健康保険税

条例の一部改正

全員賛成で可決

▼仁木町職員の育児休業

等に関する条例の一部改正

全員賛成で可決

▼仁木町放課後児童健全

育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

全員賛成で可決

▼仁木町過疎地域持続的

発展市町村計画の変更

全員賛成で可決

▼银山及び大江辺地に係る

総合整備計画の変更

全員賛成で可決

ニキバス さらに利用しやすく



指定管理者

仁木町多目的滞在施設の指定管理者の指定についてが提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

北町8丁目に位置する仁木町多目的滞在施設は、今年度から地域経済の振興を図ることを目的に、観光や仕事等で本町を訪れる方の宿泊施設としての営業を開始するもので、今後5年間は新たに株式会社ベストステイ札幌が指定管理者となります。

条例改正

仁木町予約制バス運行条例の一部を改正する条例制定についてが提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

この度の改正は、予約制バスをコミュニティバスに名称を改め、従来の予約制から、予約なしでも利用を可能とするものです。

また、従来は利用対象外であった観光客を含む本町への来訪者も利用可

仁木町コミュニティバス
ニキバス

ニキバスの運行について2つの大切なお知らせ
令和4年(2022年)4月1日(金)より、試験的に
①予約なしでも乗車ができるようになる等
運用ルールが変更となります(予約も可能)。
②時刻表(ダイヤ)と運行ルートが変更になります。
裏面もご確認のうえご利用ください。

運用ルールの変更点・注意点
(引継ぎ予約を利用される方にお願いいたします)

- これまで通り予約を受け付けますが、予約をされていない場合も、バス停にてお待ちいただくことで、ニキバスに乗りいただけるようになります。予約なしの乗車を希望する場合は、乗車前にお知らせください。
- 予約がない場合も1日8便を全て運行いたします。
- これまでの利用者の制限を撤廃し、町外客を含む全ての方向にご利用いただけるようになります。
- これまで対応していなかった、余市町内のみでの利用が可能となります。
- 料金は前払い制となります。予約なしで利用される場合は、乗車時に乗務員に現金をお支払いください。
- ダイヤ通りの運行となるため、これまで対応できなかった以下の対応が可能な点を御確認ください。
 - 予約者が出発時刻に遅れた場合の待機
 - 運行ルートから離れた目的地への乗車
 - 予約状況と乗客状況に合わせたダイヤ変更

普通利用料金
現金・WAONカード・乗車券・定期券が利用できます。

乗車区間	現金・WAONカード	乗車券	定期券
仁木町内	100円	100円	100円
仁木町内・余市町内	200円	200円	200円
余市町内・山形県内	300円	300円	300円
山形県内・宮城県内	400円	400円	400円
宮城県内・福島県内	500円	500円	500円
福島県内・茨城県内	600円	600円	600円
茨城県内・栃木県内	700円	700円	700円
栃木県内・群馬県内	800円	800円	800円
群馬県内・埼玉県内	900円	900円	900円
埼玉県内・千葉県内	1000円	1000円	1000円
千葉県内・東京都内	1100円	1100円	1100円
東京都内・神奈川県内	1200円	1200円	1200円
神奈川県内・静岡県内	1300円	1300円	1300円
静岡県内・愛知県内	1400円	1400円	1400円
愛知県内・岐阜県内	1500円	1500円	1500円
岐阜県内・長野県内	1600円	1600円	1600円
長野県内・山梨県内	1700円	1700円	1700円
山梨県内・静岡県内	1800円	1800円	1800円
静岡県内・東京都内	1900円	1900円	1900円
東京都内・千葉県内	2000円	2000円	2000円
千葉県内・東京都内	2100円	2100円	2100円
東京都内・神奈川県内	2200円	2200円	2200円
神奈川県内・静岡県内	2300円	2300円	2300円
静岡県内・愛知県内	2400円	2400円	2400円
愛知県内・岐阜県内	2500円	2500円	2500円
岐阜県内・長野県内	2600円	2600円	2600円
長野県内・山梨県内	2700円	2700円	2700円
山梨県内・静岡県内	2800円	2800円	2800円
静岡県内・東京都内	2900円	2900円	2900円
東京都内・千葉県内	3000円	3000円	3000円
千葉県内・東京都内	3100円	3100円	3100円
東京都内・神奈川県内	3200円	3200円	3200円
神奈川県内・静岡県内	3300円	3300円	3300円
静岡県内・愛知県内	3400円	3400円	3400円
愛知県内・岐阜県内	3500円	3500円	3500円
岐阜県内・長野県内	3600円	3600円	3600円
長野県内・山梨県内	3700円	3700円	3700円
山梨県内・静岡県内	3800円	3800円	3800円
静岡県内・東京都内	3900円	3900円	3900円
東京都内・千葉県内	4000円	4000円	4000円
千葉県内・東京都内	4100円	4100円	4100円
東京都内・神奈川県内	4200円	4200円	4200円
神奈川県内・静岡県内	4300円	4300円	4300円
静岡県内・愛知県内	4400円	4400円	4400円
愛知県内・岐阜県内	4500円	4500円	4500円
岐阜県内・長野県内	4600円	4600円	4600円
長野県内・山梨県内	4700円	4700円	4700円
山梨県内・静岡県内	4800円	4800円	4800円
静岡県内・東京都内	4900円	4900円	4900円
東京都内・千葉県内	5000円	5000円	5000円
千葉県内・東京都内	5100円	5100円	5100円
東京都内・神奈川県内	5200円	5200円	5200円
神奈川県内・静岡県内	5300円	5300円	5300円
静岡県内・愛知県内	5400円	5400円	5400円
愛知県内・岐阜県内	5500円	5500円	5500円
岐阜県内・長野県内	5600円	5600円	5600円
長野県内・山梨県内	5700円	5700円	5700円
山梨県内・静岡県内	5800円	5800円	5800円
静岡県内・東京都内	5900円	5900円	5900円
東京都内・千葉県内	6000円	6000円	6000円
千葉県内・東京都内	6100円	6100円	6100円
東京都内・神奈川県内	6200円	6200円	6200円
神奈川県内・静岡県内	6300円	6300円	6300円
静岡県内・愛知県内	6400円	6400円	6400円
愛知県内・岐阜県内	6500円	6500円	6500円
岐阜県内・長野県内	6600円	6600円	6600円
長野県内・山梨県内	6700円	6700円	6700円
山梨県内・静岡県内	6800円	6800円	6800円
静岡県内・東京都内	6900円	6900円	6900円
東京都内・千葉県内	7000円	7000円	7000円
千葉県内・東京都内	7100円	7100円	7100円
東京都内・神奈川県内	7200円	7200円	7200円
神奈川県内・静岡県内	7300円	7300円	7300円
静岡県内・愛知県内	7400円	7400円	7400円
愛知県内・岐阜県内	7500円	7500円	7500円
岐阜県内・長野県内	7600円	7600円	7600円
長野県内・山梨県内	7700円	7700円	7700円
山梨県内・静岡県内	7800円	7800円	7800円
静岡県内・東京都内	7900円	7900円	7900円
東京都内・千葉県内	8000円	8000円	8000円
千葉県内・東京都内	8100円	8100円	8100円
東京都内・神奈川県内	8200円	8200円	8200円
神奈川県内・静岡県内	8300円	8300円	8300円
静岡県内・愛知県内	8400円	8400円	8400円
愛知県内・岐阜県内	8500円	8500円	8500円
岐阜県内・長野県内	8600円	8600円	8600円
長野県内・山梨県内	8700円	8700円	8700円
山梨県内・静岡県内	8800円	8800円	8800円
静岡県内・東京都内	8900円	8900円	8900円
東京都内・千葉県内	9000円	9000円	9000円
千葉県内・東京都内	9100円	9100円	9100円
東京都内・神奈川県内	9200円	9200円	9200円
神奈川県内・静岡県内	9300円	9300円	9300円
静岡県内・愛知県内	9400円	9400円	9400円
愛知県内・岐阜県内	9500円	9500円	9500円
岐阜県内・長野県内	9600円	9600円	9600円
長野県内・山梨県内	9700円	9700円	9700円
山梨県内・静岡県内	9800円	9800円	9800円
静岡県内・東京都内	9900円	9900円	9900円
東京都内・千葉県内	10000円	10000円	10000円

詳細は町のホームページをご確認ください

質疑あれこれ

Q 今後、計画としてルートを増やすことは検討しているのか。

A 本町の総合計画では、ニキバスの路線数を増やすことも計画にあるため、今後、協議会にも諮りながら検討してまいりたい。

能とするもので、機能の更なる拡充が図られました。

意見書

令和4年度の米政策に関する意見書

提出議員 木村 章生
賛成議員 野崎 明廣

令和4年度の米政策に関する意見書が提出され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

決議

ロシアによるウクライナ侵攻を非難する決議

提出議員 議長を除く議員8名

ロシアによるウクライナ侵攻を非難する決議が提出され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

佐藤町長の行政報告

北海道新幹線並行在来線対策協議会 第12回後志ブロック会議について

2月3日開催のブロック会議では、これまで態度を保留していた4自治体の方向性を確認した上で、今後の進め方についての協議を行いました。

4自治体のうち、3町が「バス運行」、残り1市はバス運行も選択肢として、2巡目となる地域住民と意見交換会を開催した上で判断することとなり、態度を保留したことから、協議会全体としての方向性の決定には至りませんでした。

今後は、協議会において具体的にバス事業者との協議を進め、幹事会で調整していくこととし、余市・小樽間は北海道を含む3者による継続協議となりました。

ふるさと納税

果実とやすぎの里にき

仁木町

Hokkaido Niki Town

～全国からの応援～

寄附額の推移

年 度	寄 附 額
平成 27 年度	102,353,901 円
平成 28 年度	82,884,506 円
平成 29 年度	65,472,008 円
平成 30 年度	43,595,000 円
令和 元 年度	246,084,356 円
令和 2 年度	316,065,644 円

本町では、平成27年度からふるさと納税を開始し、寄附額の推移は上記のとおりです。

令和元年度からは町の取組み強化が実を結び、寄附額は大きく増加しており、令和3年度も額は確定していませんが、4億6千万円を超える見込みです。



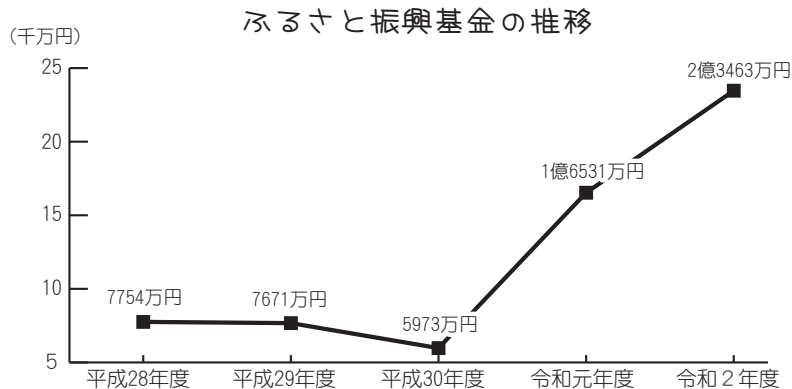
ふるさと納税って？

ふるさと納税は「生まれ育ったふるさとに貢献できる制度」、「自分の意思で応援したい自治体を選ぶことができる制度」として創設されたもので、自治体に寄附（ふるさと納税を行った際に、寄附額のうち2千円を越える部分については、原則として一定の上限まで所得税と住民税から全額が控除される制度です。

寄附に対する返礼品については「地場産品であること」や、「寄附額の3割以下の価値であること」などの条件が設定されており、他にも、「返礼品を含めた経費の総額費用を5割以下とすること」など、一定の制約があります。



寄附額は全て町で使えるの？



本町では、寄附総額から、返礼品やそれに係る諸経費、ふるさと納税申込みサイトの掲載料などを支払い、残った額を町の「ふるさと振興基金」に積み立てています。

つまり、基金に積み立てる額が、実質的な「町で使えるお金」ということになります。

この基金の積立額は、令和2年度末で、2億3400万円を超えています。



令和3年度活用額トップ10

事業名	活用額
定住促進住宅補助事業	25,000 千円
合併処理浄化槽設置補助金	11,419 千円
仁木町観光協会運営補助事業	9,353 千円
農業基盤整備促進事業	6,491 千円
予約制バス運行事業	5,533 千円
新規就農者施設園芸ハウス新設事業	5,237 千円
乳幼児医療費助成事業の拡充	3,951 千円
仁木町商工会活動推進事業	3,750 千円
公共交通調査事業	3,674 千円
排水ポンプ購入事業	3,630 千円



寄附は何に使われているの？

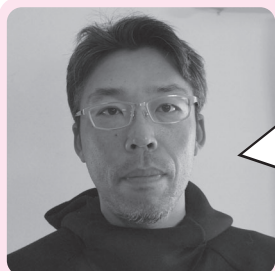
ふるさと納税の寄附金は、町の振興発展及び地域づくりに必要な経費に使用するもので、今年度は総合戦略のための事業や地域づくりに必要な事業から町民に身近な事業等の財源として活用します。



協力事業者って？

町内に本社、支社、事業所を有している、または、町内の原材料を使用した商品を製造している事業者で、町による承認を受けた法人等のことで、ふるさと納税を行った方へ、特産品を贈呈することができます。

協力事業者の声！



かさい
(北町・笠井さん)

開始当初と比較すると、事務作業が軽減されていて良いと思います。

使い道として、仁木町をもっとPRするために、観光PR事業を拡大してほしいです。

また、子育て関連の事業は充実しており、継続してほしいと思います。

ふるさと納税の返礼品は、町としてのイメージに直結するので、きちんと品質管理をしてほしいと思います。

各サイトの返礼品紹介の写真に、町内の子どもたちが返礼品をもっている写真を使うのはいかがでしょうか。



わだ
(東町・和田さん)



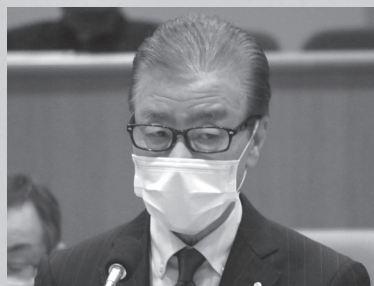
たかはし
(然別・高橋さん)

自社サイトでも農産物を販売していますが、配送の手間などを考えると、ふるさと納税は手軽でメリットが多いです。

納税者から返礼品の再配送等の要望があった際のフィードバックが、電話ではなく書類などの形に残るものでいただけると、詳細がわかるので、より改善に繋がれると思います。

一般質問

第1回定例会の一般質問には、4人の議員が登壇しました。
紙面の都合により、内容を要約してお知らせします。



さとう ひでのり
佐藤 秀教 議員

北海道新幹線並行在来線廃止に伴う
今後の取組は

15



のざき あきひろ
野崎 明廣 議員

変わりゆく水田農業への支援を

16



きむら あきお
木村 章生 議員

光回線の有効活用を

17



うえむら ちえこ
上村智恵子 議員

地球温暖化対策の推進を

18

町政のそこが聞きたい

ニキボーのなにに？

一般質問とは



一般質問とは、議員が町政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信をただし、あるいは報告、説明を求め、又は疑問をただすことです。

一般質問の詳しい
内容はコチラから

Check!

(第1回定例会)



鉄路廃止に伴うバス転換時期は

町長 状況を見極めながらしっかりと議論



さとう ひでのり
佐藤 秀教 議員

町長

バス転換を選
択した背景に
は、新しい取組の中から
新たな可能性を見出すこ
とが、町の発展につな

問

バス転換に合意し
た事で、今後は在
来線の廃止時期やバス転
換に向けた対策が課題に
なる。時代の変化に応じ
た持続可能な交通体系を
整備することが重要であ
ると考えるが、具体的な
取組は。

問

今後、バス転換に
向けた協議を進め
る上で、住民との意見交
換会が出された意見や、
障がい者や高齢者等の社
会的弱者への対応、バス
停の待合所の整備など、
様々な課題の調整が重要

るとの考えがあり、この
変化を契機とし、持続可
能な公共交通体系の整備
に取組むことが必要だと
考えている。
「ニキバス」について
は、利用者アンケートを
継続して実施し課題解決
に取組み、令和4年度か
ら定時定路線のコミュニ
ティバスに変更し、利便
性向上に努めていく。
また、新たな「仁木
町地域公共交通計画」策
定に着手する。

企画課長

今後、
北海道

になるが、その対応は。
がバス事業者と協議を始
めることになっているた
め、利用可能な交通手段
の在り方を検討し、地域
交通の確保に努めていく。

問

鉄路廃止とバス転
換を決めたこと
で、廃止時期やバス転換
に向けた具体的な協議が
始まるが、バス転換時期
について町長の見解は。

町長

具体的な協議
はされていな
いが、沿線自治体の交通
体系が形成されていない
中で、前倒しを早い段階
で決めることはできない
ので、沿線自治体の状況

問

鉄路廃止に伴い駅
舎が必要となる
が、駅舎は多くの住民に
とって町を象徴する大切
な存在である。これを保
存し、有効活用する考え
はあるのか。

町長

これまで慣れ
親しんできた
町民はもちろん、未来の
子どもたちのためにも、
鉄路の存在や証を残すこ
とが必要であることは認
識している。しかし、保



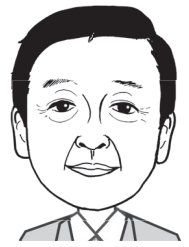
駅舎は残されるのでしょうか

ニキボーのなになに？

仁木町地域公共交通計画とは

従来の鉄道やバス、タクシーといった既存
の公共交通サービスを最大限活用した上で、
必要に応じて自家用有償旅客運送など、地域
の多様な輸送資源についても取組を盛り込む
ことで持続可能な地域旅客運送サービスの提
供を確保するために策定するものです。

存するにしても多額の改
修費や維持管理費等が発
生するので、活用してい
く上で最善策を見出して
いきたい。



のざき あきひろ
野崎 明廣 議員

政府に対しての要請は

副町長 適切な措置がされるよう要請したい

問

水田活用直接支払交付金の取り扱いが見直されたが、耕作放棄地を増やさないための地域農業再生協議会の具体的な取組は。

産業課長

再生協議会が、今回の見直しの影響を受ける農業者の実情や要望の確な把握をしていくことは、北海道の「関係機関連絡会議やワーキンググループを設置し、課題や要望を吸い上げた上で対応を検討していく」という動きと足並みをそろえる形で速やかに実施していきたい。

問

水田活用直接支払交付金の突然の見直しにもあるように、稲作農業は政府の施策にも大きく左右され、先が見えにくい状況であるが、町から政府に対する要請内容は決まっているのか。

副町長

今回の見直しにおいては、畑作物の生産が定着している農地の畑地化を促すという考えがあり、水田との輪作を地域で検討してほしいと言われている。

ただ、それが困難な地域は、具体的な現場の課題があるという認識を国ももっているため、今後の検証や意見集約を行い、協議会をはじめとしたい。ろいろな関係団体と連携しながら取組を進め、町の実態を的確に把握して、適切な措置がされるように要請したい。

問

町の農地保全対策として、新たな事業や自然環境を求めて来られる組織や、農地を求めて来られる入居者や団体などに対する取組はあるのか。

町長

有機栽培、有機農業を目指す方やワイナリー等の特

色ある農業経営を目指す方は、個人の価値観を尊重した上で、ケースごとにきめ細やかな対応が求められることから、これまでも関係機関と連携し、適宜対応しているところであり、今後も円滑に就農いただけるように、取組を進めてまいりたい。



水田で蕎麦を作っている方も多くいます

こきポーのなになに？

水田活用直接支払交付金とは



水田で麦、大豆、蕎麦、飼料用米、米粉用米等の作物を生産する農業者に対して、交付金を直接交付することで、水田の活用を推進し、食糧自給率・自給力の向上を図るものです。

光回線の有効活用を

町長 利便性や生活環境の向上に



きむら あきお
木村 章生 議員

町長

光回線は民設民営で設置されるものであり、利用開始時期は報道発表され、その後、各通信事業者の申込手続き等の案内・受

問

町民の念願であった光ファイバの整備も進み、今年度末には町内全域で光回線を利用したインターネットが可能となる予定であるが、利用可能となる時期と普及促進に向けた取組は。

問

町内における現在のインターネットの普及率と今後の目標は。

企画課長

普及率は様々な通信手段があるため把握できていないが、本町は高齢化率が高いことから2020年の通信利用動向調査による全国の利用率83・4%よりは下回っていると考えている。

付が開始されると聞いている。

また、広報紙等を通じて光回線を活用するメリットや申込手続きについて、スマートフォンを使い方なども周知しながら普及促進に努めてまいります。

問

以前、ニキバスの予約などができるアプリの実証実験を行っていたが、その結果と今後の活用方針は。

企画課長

高齢者向けの新しい繋がり創出モニター事業として、ニキバスや外出支援の予約をアプリで実施しており、町においても様々な場面で活用されるよう、操作を限りなく少なく、使いやすいものにして浸透させ

問

町の執行方針にも「光回線整備やデジタル化の進展により、住民の利便性の向上に努めてまいります。」とあるが、町として普及についてどのように考えているのか。

町長

これからはインターネット環境に我々の生活をうまく結び合わせて、生活環境を向上させていかなければならないと認識している。

町としてもインターネットを活用せざるを得ない環境づくりをして、さらなる利便性や生活環境の向上に向けた形をとっていきたいと考えている。



アプリの実証実験の経験を活かさなければなりません



うえむら ちえこ
上村智恵子 議員

地球温暖化対策の推進を

町長 次年度中に取組を進める

問 地方公共団体実行計画の策定状況と公表方法は。

町長 平成26年度に策定し、公告しているが、町ホームページなどを活用した公表は行っていない。

本町においても地球環境を取り巻く温暖化対策が日々変化している状況を踏まえ、次年度中に「仁木町地球温暖化対策実行計画書」を改訂し、取組を進めてまいらる。

問 計画の区域施策編では、住民や事業者を含めた区域全体の再エネ導入、省エネ推進とあるが、その中で太陽光パネルの補助はできないのか。

副町長 どういった形が望ましいのかというのを根本から検討した上で、具体的な施策を展開していく必要があると考えてお

り、まだ本町にはそういった知見が組みあがっていないため、モデル事業や調査事業等を活用しながら、今後地域の中において現実的・具体的な手法について提案し、計画に盛り込んでいきたいと考えている。

問 昨年、温室効果ガス排出量実質ゼロを目指して、**仁木町クールチョイス**宣言をしている。クールチョイス号はどのように活用していくのか。

企画課長 その事業については、事業主体が法人であり、車両もリースであったため、今年の2月に返却している。

問 クールチョイス宣言している町として、公用車や町長車から電気自動車に替えていくことは考えていないのか。

町長 今後の環境問題を配慮した中で、公用車や関連するものを電気自動車等に替えていく必要もあると認識している。

問 電気自動車普及のために、町内に充電スタンドを配備してはどうか。

町長 現段階では検討していないが、電気自動車の普及に

問 これから家を建てる方や、再エネを進めるためにも、環境配慮ガイドラインは作らないのか。

企画課長 太陽光発電等の規制を前提とした景観条例に含む形の制定は考えていない。



クールチョイス号は仁木町のデザインが施されていました

ニキボ-のなにに？

クールチョイスとは

2030年までに温室効果ガスの排出量を2013年と比較し26%削減するという目標達成のために、温暖化対策に資する、あらゆる「賢い選択」を促すことです。



住民税非課税世帯等に 10万円給付

臨時会のあらまし

第1回臨時会は、1月28日に開会し、同日閉会しました。
町から、補正予算1件が上程され、全員賛成で可決しました。

補正予算

◇一般会計（第7号）

一般会計補正予算は、新型コロナウイルス感染症対策の臨時特別給付金給付事業による増額補正が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

この度の補正は、「世帯全員が令和3年度住民税均等割が非課税の世帯」または「新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少し、世帯全員が住民税非課税相当の収入となった世帯」に対し、1世帯あたり10万円を給付するもので、過去の実績等を鑑み、900世帯分を増額補正するものです。

質疑あれこれ

Q 給付金は生活保護世帯も給付対象となるのか。また、収入に見込まれるのか。

A この給付金は、生活保護世帯も対象となる。また、今回の給付金については収入認定されないこととなっている。

令和3年度各会計補正予算結果

補正額

予算総額

・一般会計（10回目の補正）

9115万3000円増

43億4771万9000円

北洋銀行の窓口収納手数料が 無料から納付者負担に変更



佐藤町長の行政報告

社会情勢や経済環境の悪化に伴い、4月1日より、本町の納税通知書、納付書などにより北洋銀行の窓口で収納する場合は、納付される方が手数料を負担していただくこととなりました。

なお、北海道信用金庫、新おたる農業協同組合、ゆうちょ銀行は4月1日以降も無料となっています。

ぎかいトピックス

第36回町村議会広報全国コンクール

優良賞（全国第10位）

を受賞しました！

この度「議会だよりにき131号」が第36回町村議会広報全国コンクールにおいて、住民目線での企画と編集が評価され、優良賞（全国第10位）を受賞しました。今後も、今まで以上に読みやすい議会広報紙作成のため、日々研鑽を重ね努力していきます。



4年連続6度目の受賞となりました



議会だよりにき 131号

新しい形の教育 小中の9年間

全員協議会

1月28日の全員協議会では、
仁木町学校教育基本方針に関する件について協議しました。

1月28日の全員協議会では、仁木町学校教育基本方針に関する件について、町側から説明を受けました。

町内の学校の校舎の老朽化が進み、児童生徒数が減少している中で、小中一貫教育を主軸とした仁木町学校教育基本方針を策定するもので、銀山区の保護者を対象とした説明会の結果や、今後のスケジュール等について、説明がありました。

Q 義務教育の期間である9年間をどのように区切る方針なのか。



A 今は小学校6年、中学校3年という枠組みでやっているが、今の子どもたちの成長度合いには見合っていないという調査報告もあるため、仁木地区も含め、地域ごとに検討いただきながら決定していきたい。

Q 銀山区だけではなく、仁木地区も令和8年度から小中一貫教育を開始するのか。

A 仁木地区は施設分離型の小中一貫教育ということで、中学校の先生が小学校に授業をしに行くことなど、小中の連携を今まで以上に、いわゆる中1ギャップの解消に努めるという目的で令和8年度から開始したい。



2月14日の全員協議会では、(仮称)仁木町子育て支援拠点施設建設事業に関する件について協議しました。

2月14日の全員協議会では、(仮称)仁木町子育て支援拠点施設に関する件として、これまでの経過や実施設計の概要について、町職員と受託者である株式会社ドーコンから説明がありました。

今後は、施設名の公募を行うとともに、令和6年3月の供用開始に向けていよいよ建設工事が始まります。

Q 構想段階では、工費は9億9千万円だったが、今回の説明では約12億6700万円となっている。建設コストが上がった理由・根拠は。



A 当初の工事費は令和元年度時点に立てた整備構想のものだった。

今回の金額は実施設計ということで、工種ごとに見積もりを取って実際に積算作業を行っている。

また、東京五輪、コロナ禍による資材高騰の影響や労務単価の上昇などもあり、増額となった。

施設名公募へ

常任委員会 事務調査

令和4年3月23日に、防災備蓄食糧等の
管理状況について調査をしました。

まちの防災対策は



3月23日の総務経済常任委員会所管事務調査では、防災備蓄食糧等の管理状況について、町職員から説明がありました。

備蓄数の算出方法や、備蓄場所、それぞれの備蓄場所における備蓄食糧や資機材の備蓄数等について説明を受けた後、防災備蓄倉庫、大江コミュニティセンター、銀山生活改善センターの3か所の備蓄場所を調査しました。

また、防災関連事項として、原子力災害対策の一環で北海道から貸与されている車両の操作等についても説明を受けました。

質疑あれこれ

Q 発電機の点検はどのように実施しているのか。

A 避難所に設置の発電機については、防災訓練実施時や、その他防災訓練の対象とならない地域については、年に1回程度、稼働の確認をしている。

Q 年に1回程度の稼働確認をしているとのことだが、直近の確認時の状態は。

A 大江コミュニティセンターは昨年11月の防災訓練時に確認しており、その後の訓練時に調子が悪いとのこと、業者にみてもらった経緯があるものの、稼働する状況だった。

その他、仁木と銀山については、昨年10月頃は問題なく稼働していた。



Q 地域防災計画では、大江学園や銀山学園などを避難場所として使用できる協定を結んでいるが、各施設における備蓄状況は。

A 各施設において、数日分は確保しているものと考えている。

Q 協定を結んでいるということもあり、施設としての備蓄状況を町も把握しておく必要があるのではないか。

調査では、一部の発電機が作動しなかったり、ストレッチャー対応車両の取り扱いに時間がかかる場面もあり、委員会からは、質疑の中で、発電機の点検頻度を増やすことなどを提案しました。

A 今後、協定に関して話をする際などに確認したい。

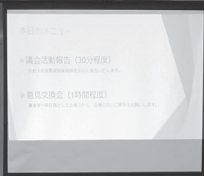


次ページは 議会報告会

新規就農者の

議会報告 意見交換会

仁木町議会 議会報告・意見交換会



貴重な意見

令和4年4月13日に、5年以内の新規就農者を対象とし、令和3年の議会報告・意見交換会を実施しました。多くの方にご参加いただき、心よりお礼申し上げます。



貴重なご意見
ありがとうございます
ございました

今回の議会報告・意見交換会では、5年以内の新規就農者を対象とし、農業関係に特化した形での議会報告を行い、その後、意見交換会を実施しました。

意見交換の場面では、参加された皆さまから、たくさんのご貴重なご意見やご質問をいただき、実りある議論を交わすことができました。

いただいたご意見等を今後の町の取組に活かせるよう、議会としても働きかけてまいります。

とても相談しやすい！

自分から求めて交流しようとするとうと交流しやすい環境であると思う。

参加者 私は、進んで集まりの場とかに行くタイプではないが、畑の周りに住んでいる方はとても良い人ばかり。

参加者 初めて農業を始めた場所だが、農業の先輩に話を聞くことも多く、そういった意味では相談しやすいと思う。

議員 みなさんが仁木町に来て、生活をしてみて人との交流をしやすいと思うか。





次の目玉作物を！

参加者 新規で就農し、ミニトマトを作っている。3年目を迎えたが、このままミニトマトだけでやっていくかという不安もある。就農時に町からミニトマトを作ることを勧められたが、次のおすすめ作物も新規就農者に提案していったらどうか。

議員 新規就農の方には国からの補助金があるが、その受給期間を過ぎた後は、みなさんが事業主として、お金を稼げるような種を自分たちで見つけ、稼いでいかなければならないと思う。

居住施設を作って！

参加者 技能実習生の受入れもそうだが、関連人口を増やすためにも一時的に住める住居が必要だと考える。

道内の取組では、保育園での短期間の受入れを可能とし、親はテレワーク、子どもは保育園で、数週間の受入れを行う取組などもある。

そのような受入れとなれる住居を作れないか。

議員 今年度から観光管理センター横の多目的滞在施設を一般の観光客も利用可能とする予定である。

職員住宅の活用を！

参加者 私は農業兼特定技能の登録支援機関をやっているが、最後に問題となるのは、住む場所がないことである。

町には、使っていない町職員住宅や教職員住宅があるのに活用しないのはなぜか。

議員 現在、農協から申請をだしてもらい、町職員住宅を有効活用できるように準備をしている。

これからも、空き家住宅を活用してもらいたいと考えている。

もっと情報発信を！

参加者 いよいよ今年から子育てセンターの建設が着工となる予定だが、進捗状況の情報が入って来ず、友人などからたまに聞く程度で、気づいたら着工という段階だった。

私自身も一町民として声を出していけば良かったと思うが、広報などにももう少し情報を載せてほしい。

議員 みなさんはどのようなツールで情報を得ているのか。

参加者 広報がメインだが、このような集まりで話すことも良いと思う。





町全体でやっつけていこう

村田 宏治さん（北町）

連載26回目は、北町在住の村田さんファミリーを紹介します。奥様とお子さんの3人家族です。
お仕事は観光果樹園を営んでいらっしやいます。

◎仁木町の子育て環境はどうですか

私も通った保育園は老朽化が進んでいます。建てる直すとのことで、とても楽しみにしています。
チャイルドシートの購入等の補助制度も充実していて、子育てしやすい環境だと思っています。

◎子育てに関して町に何か望むことはありますか

国道は交通量が多く、通行する車のスピードも速いので、カーブなどの危険個所にガードレールを設置してほしいです。

また、暗い道には街灯も設置してほしいです。

◎仁木町の将来について、どのように感じていますか

一度仁木町を離れて、戻ってきましたが、やっぱり「魅力あるいい町」だと感じています。

高規格道路ができることは、ピンチでありチャンスでもあると思います。
アクセスは良くなると思うので、人を



（取材・インタビュー 門脇吉春）

呼び込めるように「町全体でやっつけていこう」という流れを作ってほしいです。

◎お子さんに対してメッセージを！

自然があふれる環境で、このまま、のびのびと育ってほしいです。

宏治さんは就職を機に本町を離れ、家業の観光果樹園を継ぐために7年前に本町に戻って来られたとのこと。
自身の経験から、お子さんの通学については、並行在来線のバス転換後の対応も含め心配されており、バス転換に向けて町民の生活に不便がないよう、議会としても働きかけていかなければならないと改めて感じました。

まちの人

株式会社ベストステイ札幌

代表取締役 相澤 亮佑 さん

一緒に町を盛り上げましょう



新たなチャレンジに期待します

今年度から多目的滞在施設の指定管理者となった株式会社ベストステイ札幌の代表取締役である相澤亮佑さんは、宿泊業を営む中で、観光業にも携わることが多くなり、町を変えたいという思いがどんどん強くなっていききました。
そんな中、指定管理者の公募を知った時には、「念願だった地域振興にも携わることができる！」との思いから、指定管理者への応募を決定するのに時間はかからなかったそうです。

仁木町は「自然が豊かでポテンシャルは高いものの、上手くアピールできていないと感じる。」とのイメージをもっている相澤さんは、良いものを上手く出しつつ、今までにないこともやっていきたいと意気込みます。

また、「町内における新しいアイデアの受け皿として、他の企業と町との橋渡し役になりたい。」とのことで、幅広い活躍を期待させます。

現在は、「多目的滞在施設の周辺では、キッチンカーを誘致したり、ワインカーニバルを開催したい。観光シーズンにはレンタルサイクルも考えている。」と、企画の立案の他、6月中のオープンに向けて急ピッチで準備を進めています。

町内事業者の皆さんへは「除雪や草刈りなどの周辺環境管理も含め、町民の皆さんの力を借りてできる事は、町民の皆さんと一緒にやっていきたい。地元の若い力も入ってもらい、一緒に仁木町を盛り上げていきましょう！」との熱いメッセージをいただきました。

（取材・記事 廣直之）

次の議会は

6月
定例会

（6月下旬開催予定）

◆編集・発行責任者

議長 横関 一雄

◆議会広報編集特別委員会

委員長 野崎 明廣

副委員長 木村 章生

委員 廣 直之

委員 門脇 吉春

寄付行為の禁止

議員は、選挙区内の方にお金や物を贈ることは、法律で禁止されています。
また、有権者が求めてもいません。
ご理解をお願いします。